

ネパールの木陰から

青年海外協力隊 谷口枝里子
任期：2017年7月～2019年3月
職種：林業・森林保全

ナマステ！青年海外協力隊員としてネパールにいる谷口枝里子と申します。
ネパールのこと、活動のこと等、少しでも紹介させていただきます。

【ネパールってどんな国？】

面積：14.7万 km²（北海道の約 1.8 倍）
標高：約 70m～約 8,000m（世界最高峰を有する）
人口：約 2,600 万人
公用語：ネパール語

（文字はデヴァナガリ文字、**नेपाल**←デヴァナガリ文字でネパール）
宗教：ヒンドゥー教、仏教、イスラム教など（ヒンドゥー教が約 80%）
民族数：100 以上（民族毎に言語があったりする）

*日本には約 7 万人ものネパール人が暮らしています。
日本人にとって、実は身近な国ネパールです。



【国旗】



【ヒマラヤ】



【お祭りで踊る女性】



【学校】



【祈り（ヒンドゥー教）】



【野菜市場】

【あいさつ】

ネパール語の挨拶として有名なのは「ナマステ」ではないでしょうか。「ナマステ」には「おはよう、こんにちは、こんばんは」そして「さようなら」の意味も含まれています。私も冒頭で使わせていただきましたが、実はネパール人はほとんど使いません。

ネパール人の挨拶と言えば「カナ カヌバヨ？」（ごはん食べましたか？）です。会うといきなり、「カナ カヌバヨ？」と聞かれます。

ネパール人に会ったら是非使ってみてください。

【食事】

食事は基本的に朝と夜の2回のみです。そして、食事と言えば「ダルバート」。右手で「ダル（豆のスープ）や「タルカリ（野菜）」を「バート（ごはん）」に混ぜながら食べます。お店でダルバートを食べれば、お肉以外はお代わり自由。

ちなみに、ネパール人にとってパン等は食事に含まれないようで、朝食にパンを食べたと言うと、「それは食事ではない。バート（ごはん）を食べないとダメだ」と言われます。



【ダルバート】

【活動】

私の配属先は地域の森林を管理する森林事務所で、業務として苗木の生産、伐採の許可、森林管理に関する指導等が行われています。ネパールでは地域住民で「共有林グループ」と呼ばれるグループを作り、地域住民で一つの森林を管理しているのが特徴的です。ほとんど私有林は無いそうです。

私は苗木の生産を一緒に行ったり、村へ訪問し村の生活状況等の聞き取りを行ったりしています。また、日本の森林について紹介すると「日本にも森林があるの?」（杉や檜の写真を見て）なんて真っ直ぐで良い木!」と驚かれます。



【苗木】

ネパールの人々にとって森林は、薪を取ったり、ヤギ用の草を刈る場であったりと、とても生活に密着しています。豊かな森林は生活を豊かにしてくるものだ実感しながら、試行錯誤の日々です。



【地域の皆で山仕事】



【村への道】